

細菌性髄膜炎（ヒブ）ワクチン接種に対する公費助成を求める請願

「請願趣旨」

細菌性髄膜炎は毎年約1000人もの乳幼児がかかる病気で、初期には発熱以外に特別な症状はみられないため診断も難しく、重篤な状態となって初めてわかる恐い病気です。死亡率5%、後遺症の残る率は20%とされています。

しかし、この病気にはヒブワクチンがあり世界的に乳幼児へ接種されています。日本では昨年12月からヒブワクチンが接種できるようになりました。まだ任意接種のため、月齢により4回の接種が必要です。接種費用が1回7~8千円もかかり、子育て世代には大きな負担となっています。接種しやすいように公費による助成をお願いします。

「請願項目」

- 1、ヒブワクチン接種に対する費用に助成すること。
- 1、ヒブワクチンについて乳幼児がいる世帯に周知徹底すること。